

ALSシーティング 再評価・調整記録シート

症状変化 → 確認 → 仮調整 → 同じ活動で反応確認 → 次回条件・再評価

氏名 / ID _____ 評価日 _____ 評価者 _____
場面 ☐ 病棟 ☐ 外来 ☐ 訪問 ☐ 施設 ☐ その他 _____

1. 見直しトリガー | 前回より変わったことにチェック

- ☐ 首下がり・頭部保持低下
- ☐ 息切れ・会話疲労の増加
- ☐ 座位耐久性の低下
- ☐ むせ・食事疲労の変化
- ☐ 上肢操作・AACが難しくなった
- ☐ 前滑り・左右への崩れが増えた
- ☐ 発赤・疼痛・皮膚変化
- ☐ その他の変化

2. 今回守りたい活動・目的

- ☐ 会話
- ☐ 食事
- ☐ AAC / 意思伝達
- ☐ 車椅子操作
- ☐ 座位保持・休息
- ☐ 圧・皮膚管理
- ☐ その他

3. 確認したこと | 症状の原因を絞る

活動・症状	会話 / 食事 / AAC / 操作 / 休息 / 移動	所見：
骨盤・体幹	後傾 / 傾斜 / 回旋 / 側屈 / 支持面	所見：
頭頸部	頭部保持 / 頸部位置 / ヘッドサポート / 視線	所見：
呼吸・疲労	息切れ / 会話持続 / 呼吸補助筋 / 体位差	所見：
上肢・操作環境	アームサポート / テーブル / スイッチ / ジョイスティック / AAC	所見：
圧・皮膚・疼痛	発赤 / 皮膚損傷 / 疼痛 / 圧 / ずれ / 座位時間	所見：
車椅子設定	クッション / 背支持 / 足部支持 / ヘッドサポート / ティルト / リクライニング	所見：

4. 仮調整 | 変更点を絞って試す

変更した部位・設定	
変更内容	
調整の目的	☐ 呼吸 ☐ 会話 ☐ 食事 ☐ AAC ☐ 操作 ☐ 休息 ☐ 圧管理 ☐ その他（ ）

5. 同じ活動で再評価 | Before / After

比較した活動	
Before 調整前	
After 調整後	
本人の反応	☐ 改善 ☐ 同等 ☐ 悪化 ☐ 判断困難 確認方法： ☐ 発話 ☐ Yes/No ☐ 文字盤 ☐ 視線 ☐ その他
新たな問題	

6. 次回条件・再評価 | いつ・何が変わったら見直すか

今回の設定	☐ 継続 ☐ 再調整 ☐ 中止 / 相談
再評価トリガー	
次回確認時期	相談・共有先

7. 申し送り | 症状 → 調整 → 反応 → 次回条件を1文で

※本シートは標準化評価尺度ではなく、rehabilikunblog独自の記録補助シートです。新規・増悪する呼吸症状、嚥下症状、皮膚損傷、強い疼痛等はシーティング調整だけで判断せず、施設手順に従って必要な評価・相談につなげてください。